

2021年度「大学から始める『言葉の力』育成プログラム」について

(1) 趣旨・概要

本プログラムは、大学での学習の基盤となる**日本語力（言葉を活用して思考する力）**と、**主体的な学習姿勢**を育成するためのプログラムです。教育開発支援機構の所管による正課外特別プログラムとして、前期は4月・5月に、**4回**の講座を対面で実施します（新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、Webexでの実施に変更となる可能性があります）。講座は複数回実施しますが、内容はほぼ同じです（異なるのはディスカッションのテーマです）。希望する回にいつでも、何度でも受講できます。**各学部の初年次学生を主な対象**としていますが、二年次生以上の学生も参加できます。

プログラムは**30名程度（希望者数に応じて増減あり）**のクラス規模で、120分（進捗によっては15分程度の延長のあり）で完結する単発の構成になっており、プログラムのコアとなるのは、受講生自身によるグループでの積極的なワークです。**単に知識を習得することよりも、ワークを通じて学生自身が実践し、身につけていくことが狙いとなっていますので、複数回の受講が有効です**（複数回目の参加では他の受講生を支援し、教える側に回ることで、より深い学習効果を期待することができます）。また、学部・学年を異にするグループでのワークは、さまざまな価値観や考え方に触れ、刺激を受け、大学生活を豊かにするための関係作りのきっかけともなるはずです。

(2) プログラムのねらいと期待される効果

相手に誤解なく理解してもらえるための論理的・客観的な言語ユニット（文章の集まり）を構成する最もシンプルで基礎的な要素を、「クイズ文」という形式を用いて身につけていくことを主な狙いとしています。基本的なグループワークのノウハウ、司会、書記など、グループワークを円滑に行うための役割を果たす初歩的な技術、アカデミックな質疑応答の基礎等を学んだあと、実際にグループでのディスカッションを行い、**レポートの基本的な骨格（アウトライン）と、構成要素の論理的な構築の仕方**を学びます。

プログラムの基本的な流れは以下の通りです。

高校と大学で求められる「日本語力」の違いを学ぶ→グループ学習の基本的な技術を学ぶ（司会、書記の役割とノウハウ）→ディスカッションのための質疑応答の基本的な技術を学ぶ→レポートの構成要素を学ぶ→実際にレポートのアウトラインを作成し、質疑応答のディスカッションを行う

プログラムに期待されている効果は以下の通りです。

- A) 主観的な「感想」と客観的な「意見」や「主張」の違いを理解すること
- B) 「感想」ではなく「意見」や「主張」を軸にした文章構成の基本をおさえること
- C) 実際に定期試験の論述問題への回答やレポート等を作成する際に、根拠に基づいた「意見」や「主張」を説得的に展開するための初歩的な技術を身につけること

また、グループワークにおける学生同士でのコミュニケーションの基本や、グループワークに求められる基本的な役割も学びます。これにより、

- D) 司会のノウハウや、発言のためのノウハウの基本を理解し、
- E) グループワークにおいて活発なコミュニケーションを行う基礎的な技術を身につけ、
- F) 授業への能動的な参加経験を持つことで、ものごとに自主的に参画する姿勢を通じてしか得られない学びの段階に気づき
- G) 学部・学年を異にする多くの学生とのコミュニケーションを通じて総合大学である本学で学ぶことの楽しさや意義を確認する。

ことも期待されています。

(3) プログラムへの申込方法：詳細な申込方法等については、別紙のチラシをご確認ください。

本プログラムは「予約制」です。受講を希望する学生は次のいずれかの手続きを行ってください。

※ 「窓口」での申し込み

受講を希望する日の1週間前までに、教育開発支援機構事務課の窓口で「申込用紙」を受け取り、手続きを行ってください。手続き完了後、テキスト等を渡します。

※ 「申込みフォーム」での申し込み

FUポータルにログイン後、「▼お知らせメニュー」の中の『大学から始める「言葉の力」育成プログラムの参加者募集について』に記載してある申込みフォーム、またはチラシに記載しているQRコードよりアクセスしてください。申し込みが完了すると、登録した翌日までに大学より受付確認のメールが届きます。**受付確認メールを受信したら、受講を希望するプログラム開講日の1週間前までに**、教育開発支援機構事務課の窓口でテキスト等を受け取ってください。

(4) プログラム責任者/ 担当者

責任者/主な担当者：須長一幸 准教授（教育開発支援機構 教育学修支援室長）
鈴木学 准教授（教育開発支援機構 教育学修支援室）

(5) プログラムの見学について

本学の教職員の方々のプログラムのご見学も随時可能です。特に予約や申し込み等は不要ですので、見学をご希望される日時に、直接教室にお越しくだるようお願いいたします。ただし、プログラムが開講される教室は、開講日ごとに異なる場合がありますので、事前に教育開発支援機構事務課までご確認ください。

(6) プログラムで使用するテキストや諸資料について

プログラムで受講生に配布するテキストやワークシートなどの資料は、教育開発支援機構のウェブサイト等で公開していく予定ですが、現時点でも希望する方には電子データで配布しております。希望される方は教育開発支援機構事務課までご連絡ください。また、テキストや資料のご活用を先生方が希望される場合、先生方がご自身でご自由にご自由にカスタマイズして下さって構いません。

■ 問い合わせ先 ■

教育開発支援機構事務課

内線：2852 E-mail：kyokiko@adm.fukuoka-u.ac.jp